

梅雨前線に伴う平成24年7月14日出水について（速報）
（遠賀川水系）



通常時：事務所（本川19k8付近）より下流を望む



出水ピーク時：事務所（本川19k8付近）より下流を望む

遠賀川河川事務所
平成24年7月20日

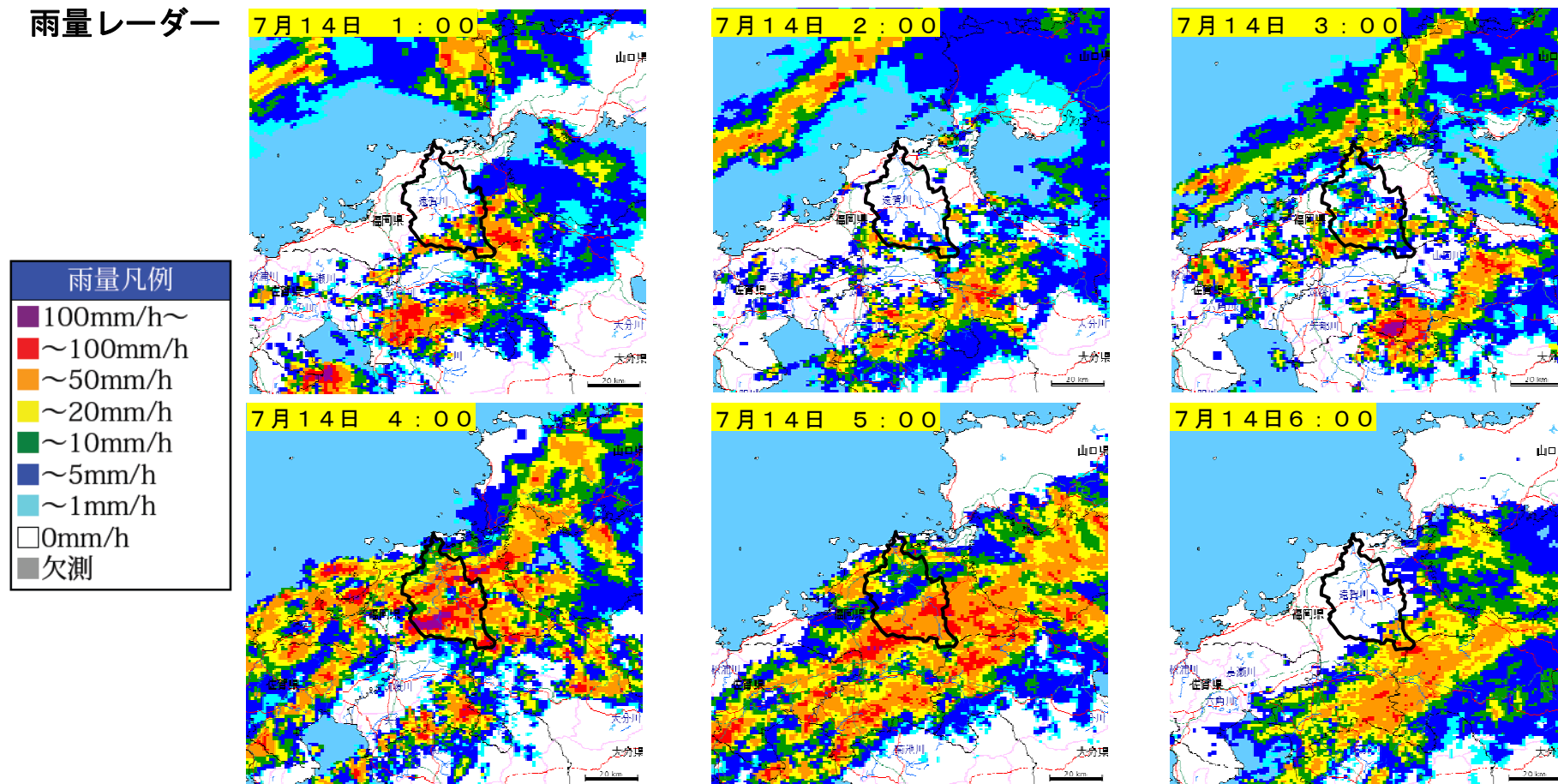
目 次

1. 降雨の概要	1
2. 水位の概要	4
3. 被災箇所・応急対策工事の状況	9
4. 出水時状況写真	10

1. 降雨の概要①（雨量レーダー）

7月13日の深夜から14日の朝にかけて、遠賀川流域に強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量となりました。特に、14日の4時から5時の間に遠賀川流域全域に強い雨域がかかりました。

雨量レーダー

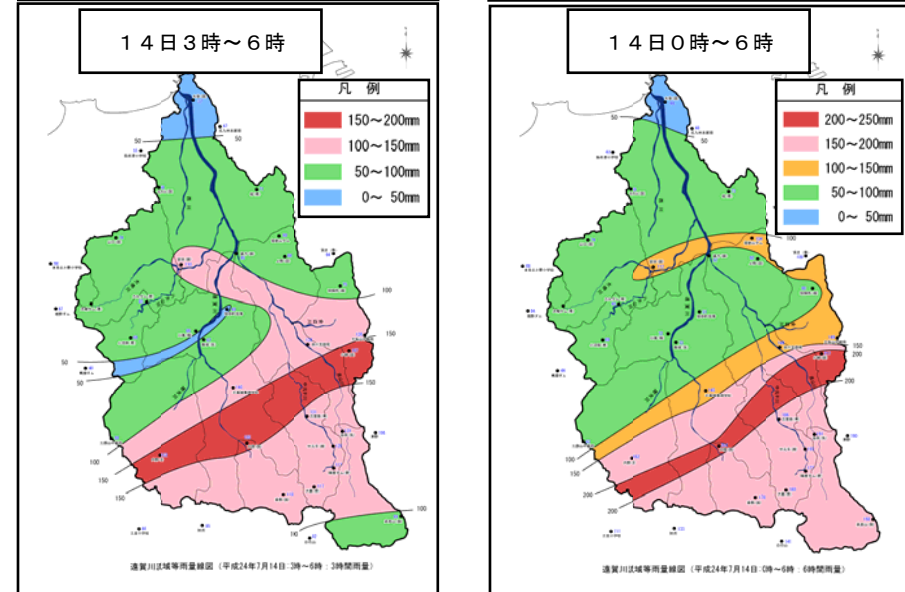
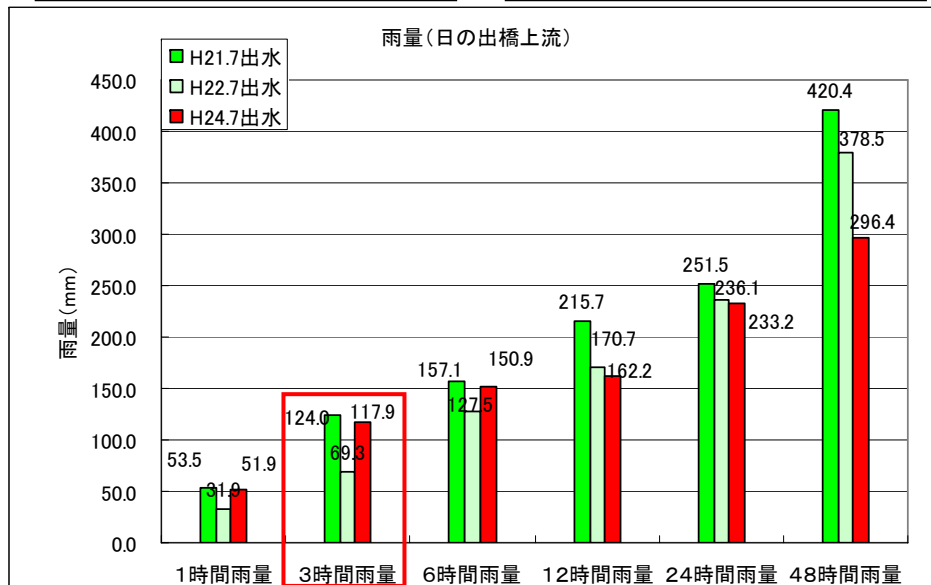
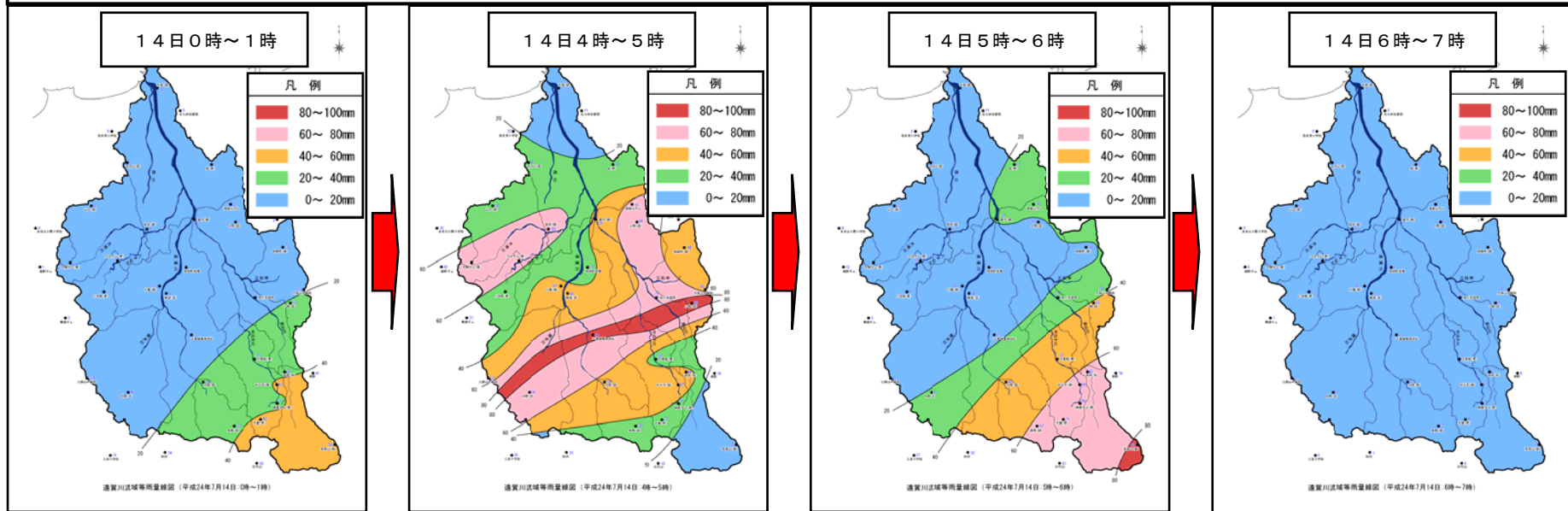


◆大雨・洪水警報発令状況（筑豊地方）

7月14日	00時55分	大雨・洪水警報	発令
7月14日	21時45分	大雨警報	解除
7月14日	22時55分	洪水警報	解除

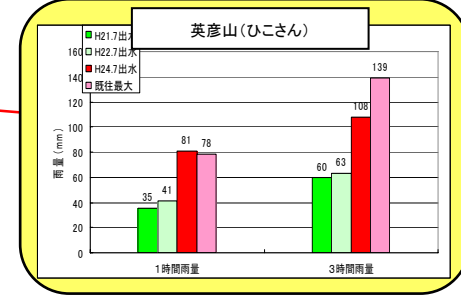
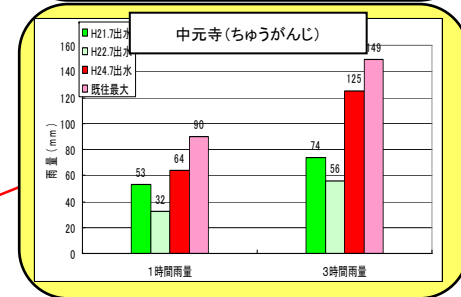
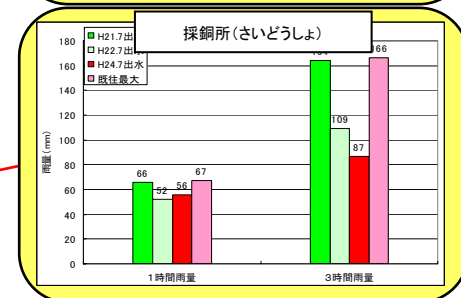
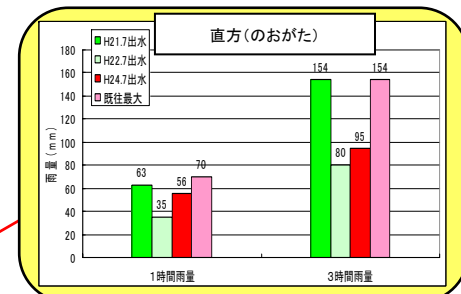
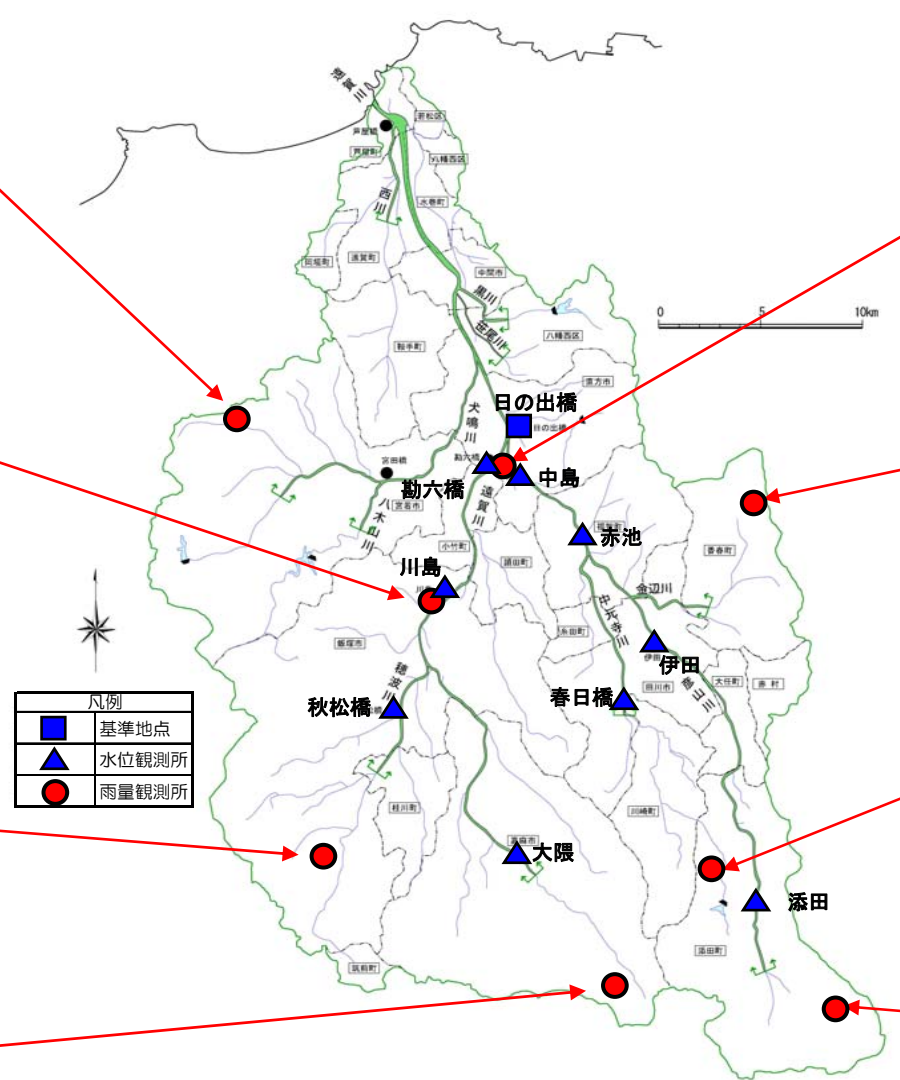
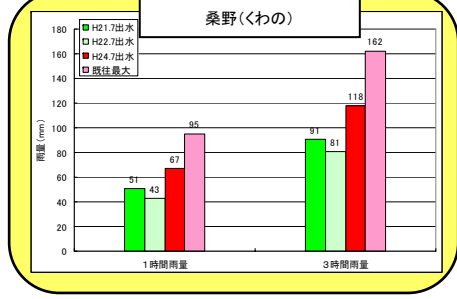
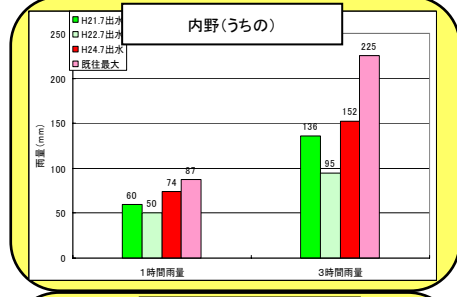
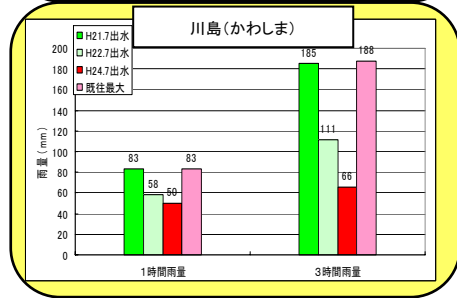
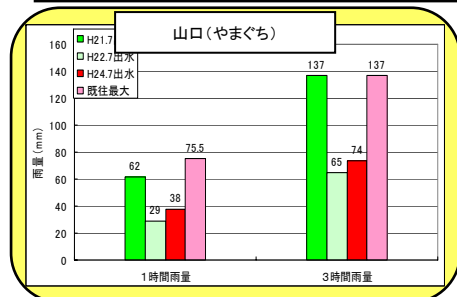
1. 降雨の概要②（等雨量線図）

平成21年7月出水、平成22年7月出水と比較すると、今回の降雨は短期集中型の降雨でした。また、今回は上流で大きな雨量を記録しました。



1. 降雨の概要③（観測所別の雨量）

遠賀川流域では、英彦山(ひこさん)雨量観測所（福岡県田川郡添田町）において、1時間雨量81ミリ、3時間雨量108ミリを記録しました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査でかわる可能性があります。

2. 水位の概要①

遠賀川流域では記録的な降雨により、日の出橋(ひのでばし)水位観測所(直方市)において、観測史上第1位の水位を記録したほか、5観測所においてははん濫危険水位を超過しました。

■最高水位

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査でかわる可能性があります。

水位危険度レベル	水系名	河川名	水位観測所	はん濫危険水位	今回最高水位	既往最高水位	備考
レベル4	遠賀川	遠賀川	ひのでばし 日の出橋	7.70m	8.17m	8.08m	観測史上第1位
レベル4	遠賀川	遠賀川	かわしま 川島	5.40m	5.41m	5.92m	
レベル4	遠賀川	彦山川	いた 伊田	4.00m	4.14m	4.63m	
レベル4	遠賀川	穂波川	あきまつばし 秋松橋	4.90m	5.00m	6.84m	
レベル4	遠賀川	中元寺川	かすがばし 春日橋	4.19m	4.97m	4.09m	観測史上第1位

※水位危険度レベル4・・・はん濫危険水位超過

■水位に関する情報の発信(防災情報)

水防警報	洪水予報
34回	8回

●水防警報

水防団の出動等の判断に必要な情報を市町村長に通知するものです。

●洪水予報

避難勧告や住民の避難行動の目安となる情報を市町村長や一般に周知するものです。

※水防警報、洪水予報は、支川の発令回数を含んでいます。

■リエゾン派遣

派遣先	派遣人数	派遣期間
直方市	1名	14日8時20分～14日16時45分

●リエゾン

自治体が災害対応に追われ、整備局との間で十分な連絡・連携が出来ない場合に整備局職員を自治体の連絡窓口として派遣するもので、整備局・自治体相互の情報共有や、災害対策用機械等の自治体への応援派遣に係る調整、災害復旧等の支援に関する自治体からの相談受付・整備局への伝達等を行い、迅速かつ的確な災害対策及び災害支援を行うことを目的としています。

2. 水位の概要②

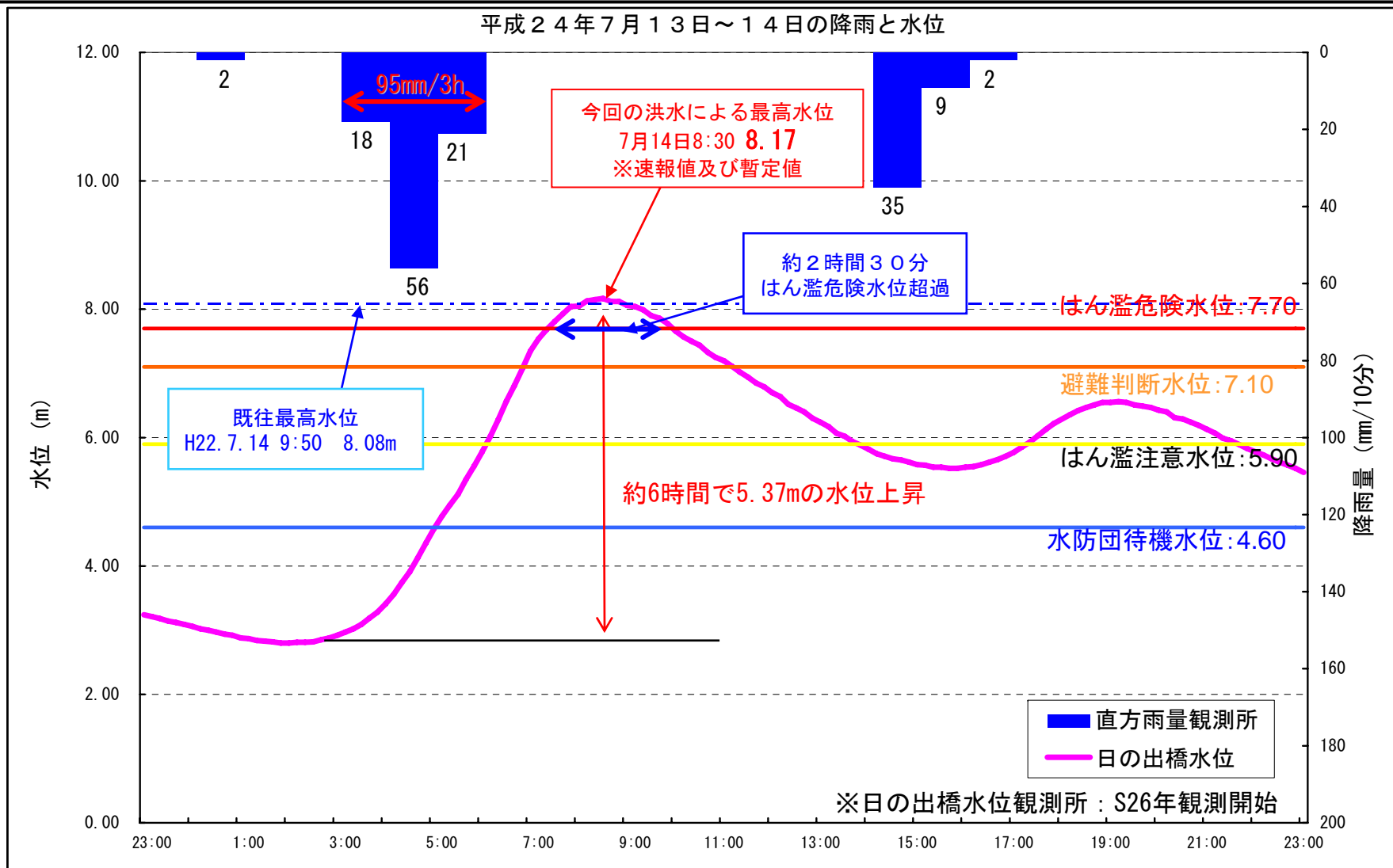
梅雨前線の活発な活動により、遠賀川水系の5観測所においてはん濫危険水位を超えました。また、7観測所において観測史上第1位の水位を記録しました。

水位危険度	河川名	水位観測所	今回最高水位 (m)				既往最高水位
			値	記録	日	時	
レベル4 (はん濫危険水位超過)	遠賀川 (おんががわ)	日の出橋 (ひのではし)	<u>8.17</u>	(観測史上第1位)	7月14日	8:30	既往最高8.08m (H22.7.14) ※S26年以降観測
	遠賀川 (おんががわ)	川島 (かわしま)	<u>5.41</u>		〃	6:50	既往最高5.92m (H15.7.19) ※S32年以降観測
	彦山川 (ひこさんかわ)	伊田 (いた)	<u>4.14</u>		〃	7:20	既往最高4.63m (S55.8.30) ※S31以降観測
	穂波川 (ほなみがわ)	秋松橋 (あきまつばし)	<u>5.00</u>		〃	5:50	既往最高6.84m (H15.7.19) ※S37年以降観測
	中元寺川 (ちゅうがんじがわ)	春日橋 (かすがばし)	<u>4.97</u>	(観測史上第1位)	〃	6:00	既往最高4.09m (S58.7.5) ※S37年以降観測
参考	遠賀川 (おんががわ)	大隈 (おおくま)	<u>3.23</u>	(観測史上第1位)	7月14日	6:00	既往最高3.00m (S28.6.28) ※S33年以降観測
	遠賀川 (おんががわ)	勘六橋 (かんろくばし)	<u>7.30</u>	(観測史上第1位)	〃	8:30	既往最高7.19m (H22.7.14) ※S33年以降観測
	彦山川 (ひこさんかわ)	添田 (そえだ)	<u>4.27</u>	(観測史上第1位)	〃	6:50	既往最高3.62m (H18.8.30) ※S33以降観測
	彦山川 (ひこさんかわ)	赤池 (あかいけ)	<u>6.02</u>	(観測史上第1位)	〃	7:20	既往最高5.85m (S55.8.30) ※S29以降観測
	彦山川 (ひこさんかわ)	中島 (なかしま)	<u>7.42</u>	(観測史上第1位)	〃	8:10,8:20	既往最高7.16m (H15.7.19) ※S29以降観測

※本資料の数値は速報値及び参考値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 水位の概要③（遠賀川水系遠賀川）

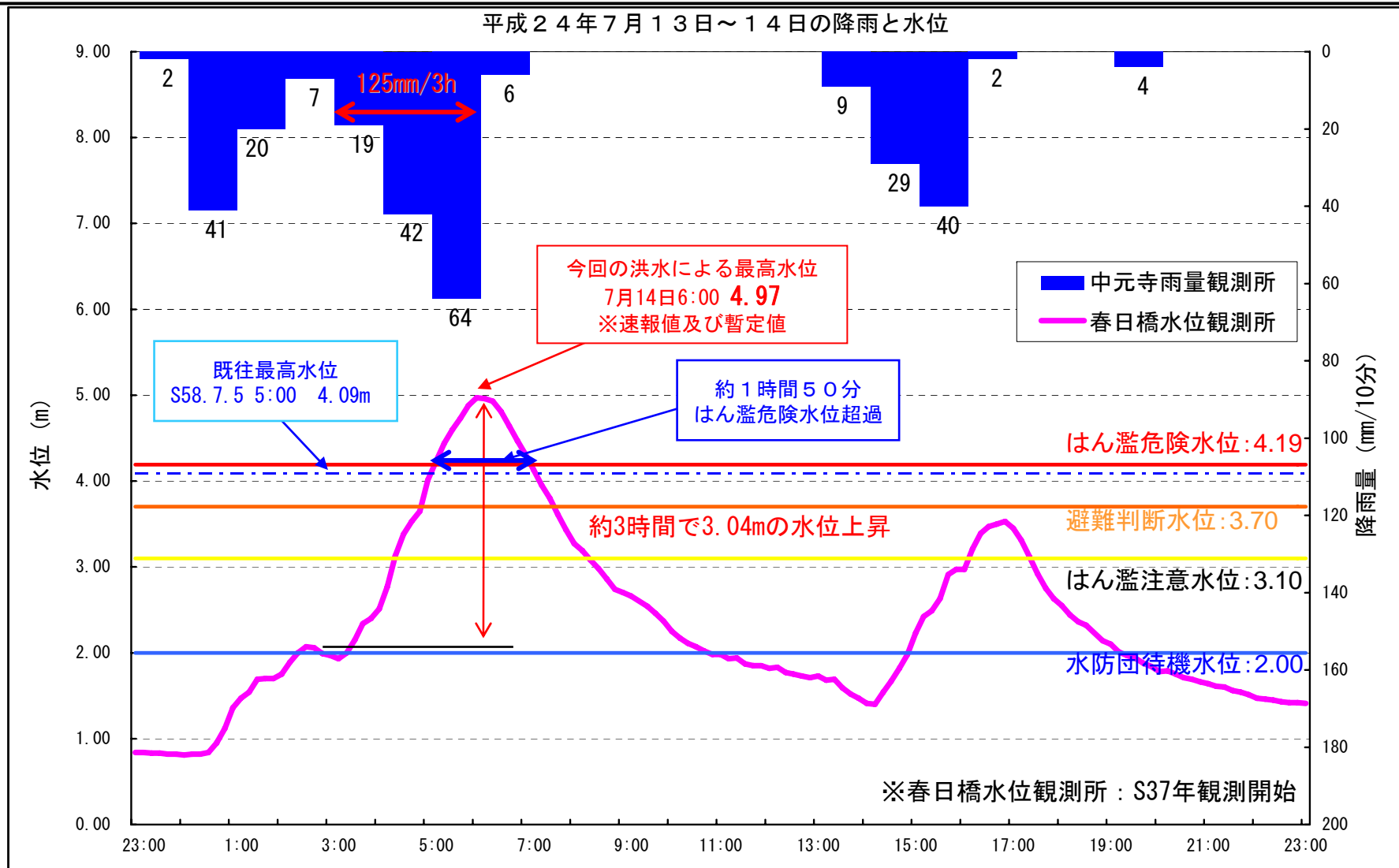
直方(のおがた)雨量観測所において、7月14日の4時から5時までの1時間に56ミリ、3時から6時までの3時間に95ミリを記録し、日の出橋(ひのでばし)水位観測所では、観測史上第1位の水位を記録し、約2時間30分にわたりはん濫危険水位以上の水位が続きました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。6

2. 水位の概要④（遠賀川水系中元寺川）

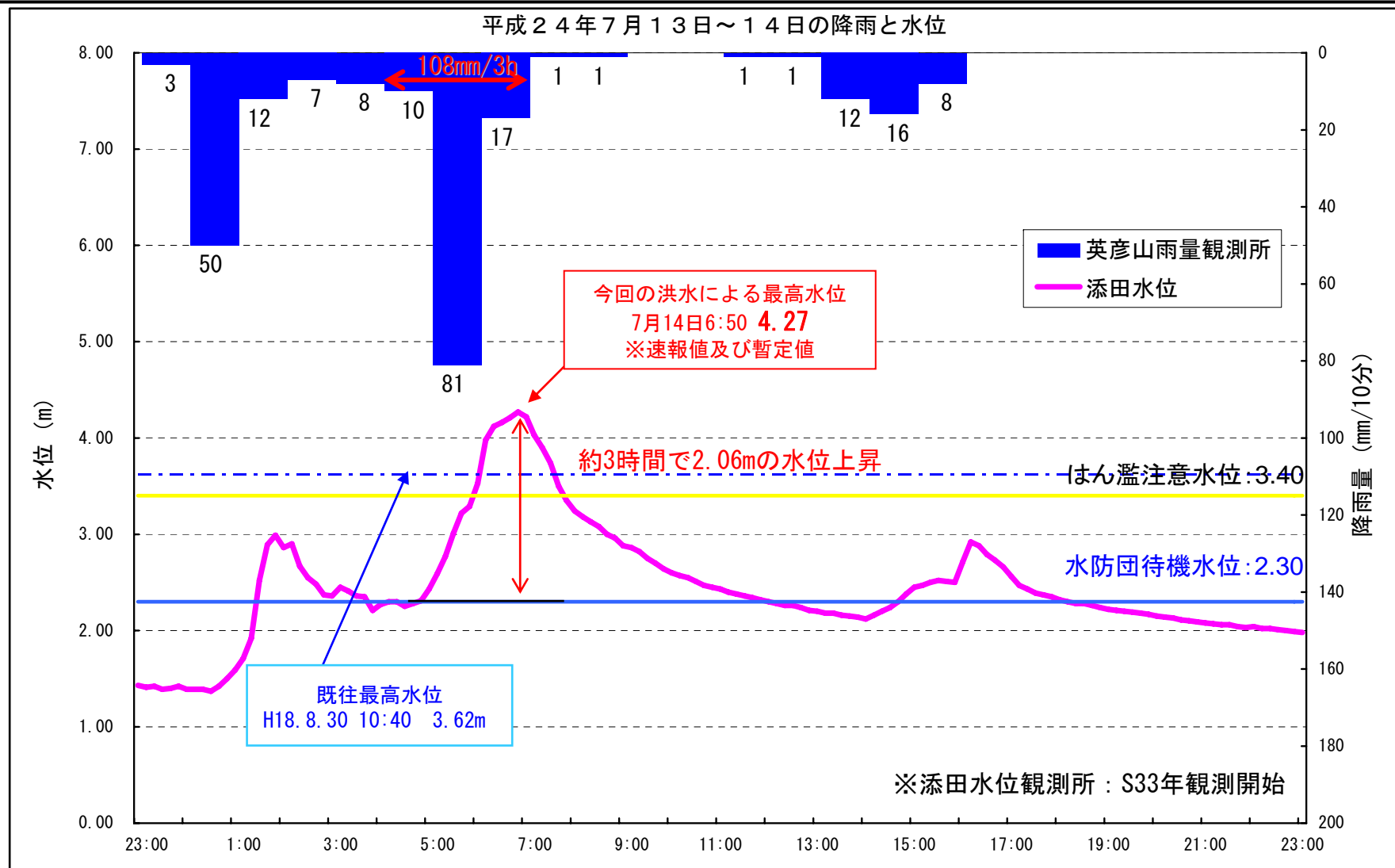
中元寺(ちゅうがんじ)雨量観測所において、7月14日の5時から6時までの1時間に64ミリ、3時から6時までの3時間に125ミリを記録し、春日橋(かすがばし)水位観測所では、観測史上第1位の水位を記録し、約1時間50分の間、はん濫危険水位以上の水位が続きました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。7

2. 水位の概要⑤（遠賀川水系彦山川）

英彦山(ひこさん)雨量観測所において、7月14日の5時から6時までの1時間に81ミリ、4時から7時までの3時間に108ミリを記録し、添田(そえだ)水位観測所では、観測史上第1位の水位を記録しました。

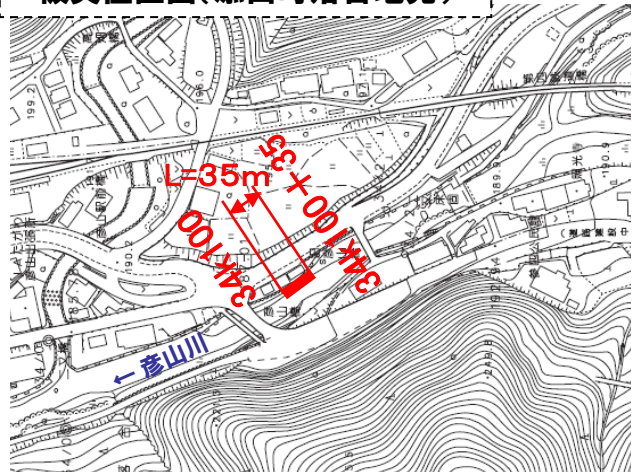


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。8

4. 被災箇所・応急対策工事の状況（遠賀川水系彦山川）

ふくおかけん たがわぐん そえだまち おちあい ちさき
遠賀川水系彦山川における福岡県田川郡添田町落合地先では、35mにわたり護岸崩壊が発生しましたが、7月17日8時30分から応急対策工事を実施し、7月19日12時に完了しました。

被災位置図(添田町落合地先)



7月14日7時00分被災



応急対策工事の経過状況

7月18日17時00分(55%完了)



7月19日12時00分(100%完了)



5. 出水時状況写真

